



# 観光まちづくりレポート

## 「自分たちのまちは自分たちでつくる」との熱い想いでまちづくりに情熱を注ぐボランティア団体：夢咲塾 ～奈良県大和高田市～

奈良県大和高田市は、奈良県の北西部に位置する面積 16.49km<sup>2</sup>の都市。古くから難波・大和・伊勢を結ぶ交通の要衝として栄え、大阪都市圏から約 30 分という交通至便な位置にあることもあって、中南和地域の中核拠点「商都たかだ」として発展を遂げてきた。現在、人口は 70,093 人（平成 24 年 3 月 1 日現在）である。

商業のまちとして発展してきた一方で、宿泊施設など観光に関係した施設や観光資源は比較的少なく、年間を通して大和高田を訪れる観光客は残念ながら少数である。そのためか市役所の組織には観光に関連する部署がなく、また観光協会も存在しない。そういったこともあり、観光に関連するまちづくりや地域振興は民間がイニシアティブを取って行われている。

今回は、こういった環境下にある大和高田市においてまちづくりに積極的に取り組み、地域の振興に一役買っているボランティア団体「夢咲塾」の活動を追った。

### I 夢咲塾誕生までの経緯

平成 7 年 8 月に大和高田市が市民等に呼びかけて「夢咲塾」の前身となる「大和高田市夢咲塾」が創設された。この塾は、「自分たちのまちをよりよくしていきたい」という強い信念を持った人で構成され、目指すものは、「人と人との出会いと交流を通して『夢と希望と感動にであうまち』の実現」であった。

しかしながら、塾での活動期間は 2 年と短く、塾生がそれぞれの思いを出し切れない状況にあったことから自身の思いの実現のために、平成 11 年 7 月「大和高田市夢咲塾」と平行して、「夢咲塾 OB の会」を結成した。

「夢咲塾 OB の会」は夢咲塾 OB 有志とその賛同者で結成された「まちづくりの市民団体」であり、自営業、公務員、主婦、会社員などさまざまな構成メンバーからなる。まちづくりの学習と実験的なミニイベントの企画と実践、他団体との交流などを通して、塾生自らが考えるまちづくりの夢をひとつひとつ咲かせ、市民との対話を広げてきた。

そして、これからの「大和高田市夢咲塾」の方向性を行政に提言していくなかで、新しいまちづくり塾の構想が生まれ、新たな組織設立の運びと

なった。それが、平成 15 年 4 月、4 期 8 年という期間で一定の役目を終えた「大和高田市夢咲塾」と「夢咲塾 OB の会」の両者の活動を継承しつつ出発した「夢咲塾」だ。



活動中の夢咲塾のメンバー

### II 夢咲塾の会則とまちづくりの考え方

夢咲塾は、「このまちのまちづくりとひとつづきを通じて、夢のある未来を創造することを目的としています」と会則に掲げている。また、『「まちづくりとは？」』という問いに対する答えはひとつではありません。まちなみ保存、商業活性化、

福祉、子育てなど個々人によってまちづくりの意味は違ってきます。ただ、切り口はたくさんありますが、まちづくりはひとづくりという共通の思いはあります。また、今自分たちが住んでいる大和高田のまちが好きという思いを確認し、このまちを大事にし、次世代を担う子どもたちを育てていきたいとも思っています。こんな活動をしたいという夢はたくさんありますが、塾のメンバーだけでなく、大和高田を愛する人と一緒にひとつ丁寧な夢を咲かせていきたいと思っています」と、まちづくりの考え方を示している。

#### ◆夢咲塾会則

##### 【目的】

○このまちの「まちづくり」と「ひとづくり」を通じて、夢のある未来を創造することを目的とします。

##### 【事業に伴う活動の種類】

##### ○創出活動

- ・新しいものの創出（観光事業、歴史・文化事業、その他）をはかる事業
- ・まちのアイデンティティの創出及びその支援を図る活動

##### ○支援活動

- ・各地域のまちづくりのコーディネートを図る活動
- ・まちでの教育・人づくり支援（文化・ビジネス・教育）を図る活動
- ・会の活動を通じて行政にまちづくりの提言・提案を図る活動

### Ⅲ 主な活動内容

夢咲塾では、毎年、数々の活動を行っているが、本稿では、その一部を紹介する。

#### 1. 夢づくりまがじん「どりいむ」の発刊

夢づくりまがじん「どりいむ」を年1回発刊して地域の情報を発信している。「どりいむ」は、平成12年10月に第1号を発刊、その後毎年発刊

され、最新号は第12号。大和高田市内の公民館などの公共施設や夢咲塾のイベント開催時等で無料配布している。

地域の話題、地域資源の紹介やセミナー&座談会の案内、塾の活動報告など内容は盛りだくさんで、市民が興味を抱く情報を数多く掲載している。第1号「どりいむ」では、「『大和高田』というまちを様々な視点で見つめ直す事で、このまちを再発見し、『我がまち』として永く愛していけるようにしたい」、「地元が地元を愛せなければ他所の人が愛してくれるわけがない」と書かれ、ここから地元の発展にかける熱い想いを窺い知ることができる。



「どりいむ」創刊号と最新号の表紙

#### 2. 静プロジェクト

大和高田市は静御前の母、いそのぜんに磯野禪尼の出身地で、静御前が余生を送った地とも伝わっており、「義経・静御前」の遺跡・伝承がいろいろな関わりで残されている。

そこで、平成17年のNHK大河ドラマ「義経」放映にあわせて、夢咲塾では平成16年に「静プロジェクト」を立ち上げた。同プロジェクトは、「静御前」をきっかけに市民の歴史遺産への理解を高めることや、経済、文化面において今後のまちづくりを進める糸口とすることを目標としている。同プロジェクトでは、大和高田が「静御前ゆかりの地」であることを市内外に広くPRし、全国から注目されることによって、市民が地域に誇

りを持って暮らす手掛かりをつかむ活動を行った。  
具体的な活動内容は、

- ①セミナーを開催し、地元大和高田市磯野の人たちと静御前についての理解を広める。
- ②大和高田市内だけでなく、吉野を含めたウォークを開催。
- ③「静御前ゆかりのまち高田・吉野」を県内外にいろいろな機会をとらえてPR。
- ④静御前をより親しまれるものにするためマスコットキャラクター「夢しずか」を作成。

の4項目である。



夢しずか

#### ◆白拍子養成講座（白拍子伝承塾）の開催

白拍子<sup>しらびょうし</sup>（\*）養成講座は、「静プロジェクト」の一環であり、市内各所で、静御前についてのPRを行ったなかで生まれてきたものである。源頼朝が静御前に白拍子を舞うように命じたという経緯から、大和高田商工会議所を中心とするTMO「にぎわい大和高田」が、白拍子舞の育成を計画、実施していたが、平成20年、「にぎわい大和高田」より事業を受け継ぎ、白拍子の育成と各地への白拍子派遣事業の事務局を夢咲塾が担当することとなった。「白拍子養成講座」の講師には、歌舞伎舞踊村山流家元の村山左近氏をお迎えし、月3回開講している。受講生は白拍子舞の上達に意欲を燃やして稽古に専念し、中には村山家元より名を授かるほどに上達した者もいるという。また、平成22年の平城遷都1300年祭では、まほろばステージで見事な舞が披露され、会場から満場の拍手を受けた。なお、「白拍子養成講座」は平成22年に「白拍子伝承塾」に名称変更している。

今後、白拍子舞は、機会をとらえていろいろな場所へ派遣をしていく予定であるが、日本の芸能文化の伝承を子ども達へ伝える一つの方法として、

学校での体験学習を考えている。また、白拍子だけでなく、子ども達が大和高田の歴史や文化を学ぶことにより、高田を愛するようになるような長期的なプログラムを組む必要があるとも考えている。

\*白拍子は、平安時代末期から鎌倉時代にかけて起こった歌舞の一種、及びそれを演ずる芸人。



見事な白拍子舞が披露される

### 3. フットパス事業

平成17年に、奈良県観光課との共同事業で大和「風景フットパス」整備事業が行われた。同事業では、地域に埋もれた観光資源の掘り起こしとその活用を目的として、「フットパスマップ」が作成された。

「フットパス」とは、自分のペースでゆっくりと歩いて、その地域の魅力を発見しようとする活動のこと。フットパスマップを見ながら小径や路地、歩道や河川の堤防を歩き、まちなみや集落の風景などに会うことで、その地域の歴史や伝統文化、にぎわいや人とのふれあいなどの魅力を発見することができる。

昨年の平城遷都1300年祭のリレーウォークでは、日頃から素通りしがちな専立寺表門にある、詩人「野口雨情」の歌碑が参加者に人気があった。

このように、日常生活している者にとっては関心が薄い風景等でも、視点を変えると新鮮なものに見える。大和高田には、まだまだ市民が気づか



フットパスマップ

ない「まちの光」が散在していると思われる、その発掘とブラッシュアップを市民、行政と夢咲塾が共同で行うことによって、まちの活性化が十分に図れると考えられる。

#### 4. その他

##### ①高田夢まちウォーク

地域の歴史等に詳しい専門家を招聘し、専門家と共に地域を巡る「高田夢まちウォーク」を平成14年から開催している。直近では、平成23年11月13日に第9回が開催され、参加者のアンケートからは「地域資源の再発見ができた」「大和高田市の歴史文化の一端に触れた」など多くの好意的な感想が寄せられた。

##### ②高田夢まちシアター

商店街や市の祭り・イベントとタイアップして音楽会や映画鑑賞会を毎年開催し、まちの活性化に尽くしている。平成21年には大和高田市を舞台とする映画「大和川慕情」が完成したことを受け、地元や大阪はもとより東京日本橋の「奈良まほろば館」においても上映会を開催した。上映は、地元の人へ感動を与えるとともに、大和高田への観光客の誘客や大和高田の知名度向上にも貢献している。なお、本映画は平成22年にDVD化さ

れている。

##### ③夢咲まちづくりセミナー&座談会

様々な分野の専門家からまちづくりについての話を聞き、市民の視線からまちづくりの方策をまとめるとともに、まちづくりに対する市民意識の向上を図る目的で開催している。

##### ④行政（大和高田市）への提言

夢咲塾では、様々な活動を通して得た経験や知識等をまとめた、地域の発展のための提言書を毎年度末に大和高田市へ提出している。

平成22年度の提言書では、a) 大和高田市役所に「まちづくり観光課」を設置する提言、b) まちづくり団体と行政との協働に関する提言、が書かれている。

## IV おわりに

「自分たちのまちは自分たちでつくる」との考えでまちづくりを推し進める夢咲塾。同塾が求める観光とは、「大和高田の市民自らが『大和高田の価値観を再発見あるいはリニューアルし、それを求めて来訪される人におもてなしができる』こと」である。

これまで、大和高田市夢咲塾の活動を継承し、平成15年に設立された夢咲塾は、今までみてきたように数々の事業を展開し、一定の成果を出していると評価できる。だからこそ、これからの夢咲塾に期待する声も多く、地域の活性化や観光振興へ向けて同塾が担う使命は今後ますます大きくなると思われる。さらなる発展を期待してやまない。  
(丸尾尚史)

### <連絡先>

〒635-0082

奈良県大和高田市本郷町 11-31

夢咲塾 代表者：水本 一次 氏

TEL：0745-52-2907

URL：<http://yumesaki-juku.org/>